シルバーマーク　　シルバーくん

令和６年８月号
センターだより

第44号　令和6年7月31日現在

会員数503名（前年同月487名）
男性328名、女性175名

袋井・森地域シルバー人材センター

新しいお札について勉強しよう

政府広報オンライン
「2024年7月3日、新しいお札が発行！」を加工して作成
https://www.gov-online.go.jp/article/202406/entry-6075.html

7月3日に、新しい一万円札、五千円札、千円札が発行されました。
そろそろ皆さんのお財布の中にも入っているころでしょうか？
今回のセンターだよりは、趣向を変えて、20年ぶりに新しくなったお札について勉強していきたいと思います。大人の自由研究みたいですね。

新しい一万円札には「渋沢栄一」、五千円札には「津田梅子」、千円札には「北里柴三郎」が採用されています。なお、大きさは今までのお札（平成16年発行）と変わりありません。

やってみよう！

ここでクイズです。　※ 答えは一番下をご覧ください
❶今までの一万円札、五千円札、千円札は誰だったでしょうか？
❷その前の一万円札、五千円札、千円札は誰だったでしょうか？

皆さん、わかりましたか？意外と難しいですよね。ご家族やお友達にもぜひクイズをやってみてください。

新しいお札には偽造対策として、「高精細すき入れ」と「3Dホログラム」が採用されています。

◆「高精細すき入れ」◆

「すき入れ」は「すかし」ともいわれ、お札を光にかざすと肖像などが浮かび上がる技術です。今までのお札のすき入れは肖像のみですが、新しいお札では肖像の背景に小さな菱形の模様が連続的に入っています。この菱形の模様は「高精細すき入れ」といい、とても細かい線で構成しているため偽造をより困難なものにします。

◆「3Dホログラム」◆

「ホログラム」は今までの一万円札と五千円札にも採用されており、金属光沢があり、角度を変えることで違った模様が見える技術です。コピー機やプリンターなどでお札を印刷しても、このホログラムの特性が失われるため、偽造防止に有効です。新しいお札では、立体的な肖像が左右に回転するデザインの「3Dホログラム」を採用し、一万円札、五千円札、千円札の3種類全てに貼ってあります。この技術が導入されたお札は、世界初となります。顔が左右に動きます。ぜひ実物で試してみてくださいね。

ふくろい遠州の花火 2024　クリーンアップ作戦

ふくろい遠州の花火 翌日早朝、理事長と職員でゴミ拾いのボランティアに参加しました。 中高生や他の企業の方々とともに、広岡河川公園グラウンドで花火の燃えカスなどを拾いました。

1時間程度の作業でしたが、尋常じゃない汗をかきました。改めて外仕事の方の大変さが身に染みてわかりました。いつもありがとうございます。

クイズの答え
❶今までの一万円札は「福沢諭吉」、五千円札は「樋口一葉」、千円札は「野口英世」❷その前の一万円札は「福沢諭吉」、五千円札は「新渡戸稲造」、千円札は「夏目漱石」